

【2025年12月期第2四半期(中間期)決算説明会 質疑応答】

実施日:2025年9月5日

説明者:代表取締役社長兼 CEO 塚本浩康

上席執行役員活性本部長 丸山泰次

主な質疑応答内容

(全ての質疑応答の内容を記録したものではなく、ご理解いただきやすくするために一部編集を行っております)

Q1:2025年4月価格改定後の足許の状況について教えてください。

A1:今回の価格改定では家庭用・業務用ともに幅広い品目で値上げをお願いしており、直近のところでは加重平均ベースで約6%の単価改善が実現しております。一方、値上げに伴う販売量の動向ですが、上半期は当初想定よりも販売量が減少し売上計画未達であった一方で、この7~8月は想定ほど落ち込んでおらず各種販促施策の一層の強化等を通じ売上の年度計画達成に向けてしっかり取り組んでまいります。

Q2:今後さらに価格改定する予定はありますか。

A2:現在その予定はございませんが、今後の原材料価格や為替の動向等については注視しております。

Q3:今後の原料相場動向についてどのように予想していますか。

A3:人口増加や食文化の変化に伴い特に東南アジアやアフリカ・中東において乳製品需要が高まっている一方、ヨーロッパ等においては環境問題等の理由から乳製品の生産が増えにくい状況となっております。このような需給見通しから今後において外貨建てベース原料価格が下がる要素は少ないと考えており、弊社では調達先の分散・多様化の検討を鋭意進めております。

Q4:期末の資産負債状況について、「回収条件の変更」により現預金が大きく減少し売掛金が逆に大きく増えていますが、キャッシュフローへの影響はなかったのでしょうか。

A4:大口売掛先からの回収条件が「月末入金→翌月2日入金」に2日間だけ伸びたことが要因で、当社のキャッシュフローに与える影響は軽微と考えております。

以上